

★Tsuku-Bike(つくばサイクルプロジェクト)とは★

・筑波大学が抱える**自転車交通事情の改善**を見据えた**コミュニティサイクルシステム(CCS)の導入**を検証するために2010年11月に発足

・都市計画を学ぶ学生を中心に10名程度で活動中

・筑波大学が学生の自発的な活動をサポートする、つくばアクションプロジェクト(T-ACT)の枠組みで活動を行う

・平成24年度筑波大学社会貢献プロジェクト(登録課題)採択

・つくばエコシティー推進賞2010(グリーン賞)受賞

<TSUKU-BIKE(TB)のロゴについて>

多くの人にこのプロジェクトに親しみを持ってもらうためにロゴを作成した。

筑波大学カラーの紫を基調とし、頭文字のTとBの文字を用いて、自転車を表現している。

Tの下についている車輪には、コミュニティサイクルの「コミュニティ = 輪」という意味も含まれる。



★筑波大学が抱える自転車交通事情★

学内移動手段、通学手段としての自転車

① 広大なキャンパス

- ・南北4km,東西1km,総面積257ha
- ・教室の移動に10分以上かかることもある
- ・学内移動手段として自転車が多用される



<参考>筑波大学 筑波キャンパスマップ

② 多くの学生が大学周辺に在住

・筑波大学生の居住割合

筑波大学学生宿舎 ; 25.1%
 近隣のアパート・マンション; 61.6%

⇒8割強の学生が大学周辺に在住

・筑波大学生の通学時間

およそ4分の3の学生が15分以内

30分以上かけて通学する学生は1割

・筑波大学生の通学手段

学生全体の**68.5%**(雨天時;58.6%)が通学手段として**自転車を使用**

<出典>筑波大学;平成20年度第8回学生生活実態調査(学群)報告書

自転車の運転、駐輪マナー

・**自転車の運転、駐輪マナーの向上**を望む声が学生の中で**極めて高い**

筑波大学 平成20年度第8回学生生活実態調査(学群)報告書より



点字ブロック上の自転車



駐輪区域外まではみ出す自転車



混雑している駐輪場



近くの空いている駐輪場

・近隣の住民等から、筑波大生の**交通マナー**について**数多くの苦情**が寄せられている
内容は、無灯火、並列走行、車道の右側通行など様々ある

筑波大学広報誌 STUDENTS2010安全特集・冬号 通巻622号より

・大学では、無灯火運転の防止キャンペーン、マナー向上のための広報などに取り組むものの根本的な解決にはなっていない

筑波大学 自転車環境シンポジウム(2010年12月1日)より

放置自転車の問題

- ・大学が廃棄する自転車は約**1200台/年**
- ・多くは卒業生などがキャンパスに放置していったものと推察される
- ・キャンパスに長期間放置されている車両に警告文を貼り、移動されなかったものに対して廃棄処分を行う
- ・現在処分費用はかかっていない

筑波大学総務部 黒岩氏からヒアリング(2010年12月20日)



大学による交通安全指導(左)と無灯火防止を呼び掛けるポスター(右)
(筑波大学HP ;www.tsukuba.ac.jpより引用)

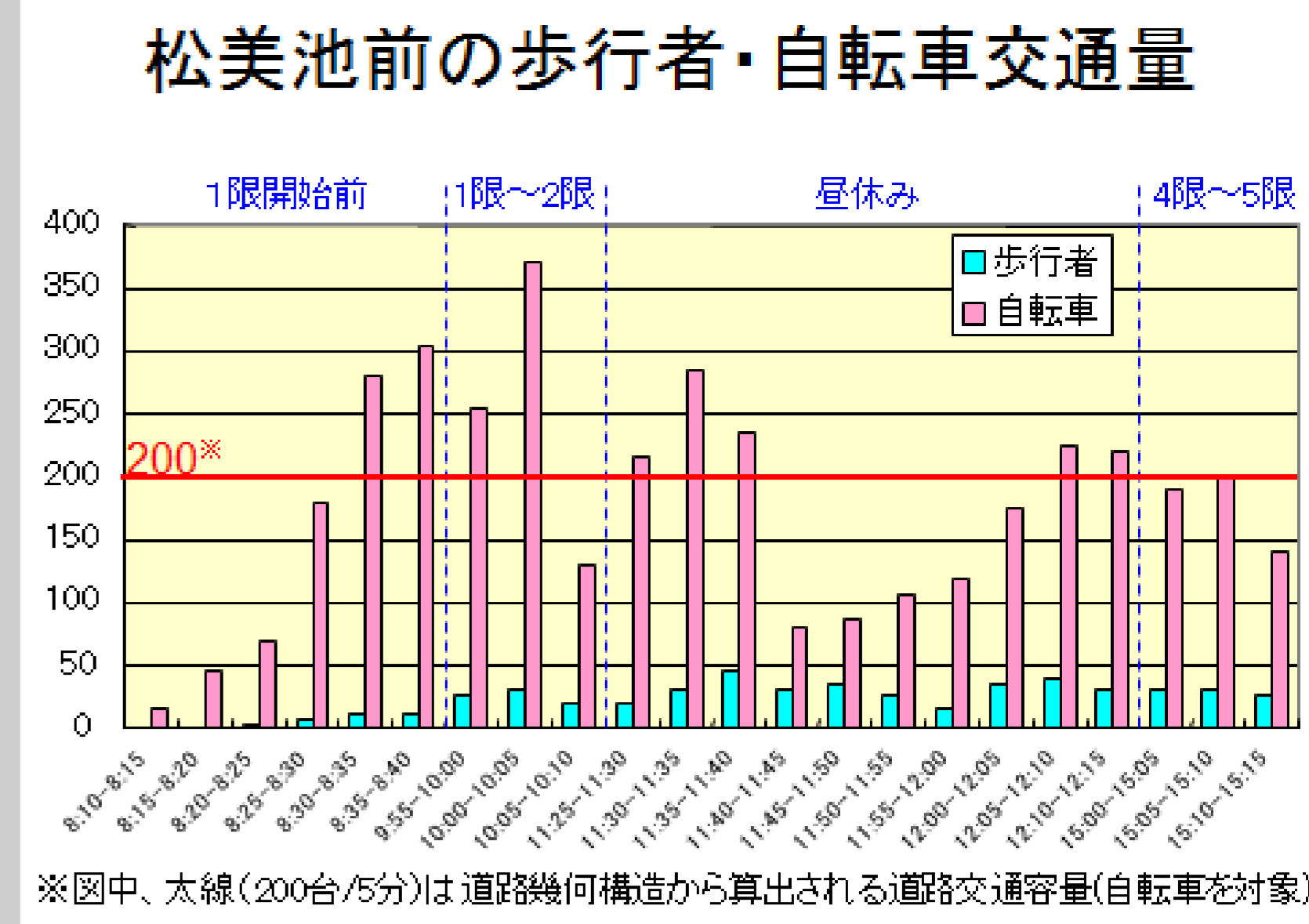
ペDESTリアンデッキ道路容量の超過

- ・大学の中心軸であるペDESTリアンデッキには多くの自転車が往来
- ・道路交通容量を超える自転車の往来

⇒渋滞の発生や自転車による事故のリスクが高くなる



混雑するペDESTリアンデッキ



出典:筑波大学都市計画実習 交通班調査

★Tsuku-Bike導入によって目指すところ★

①ペDESTリアンデッキ交通量の削減

- ・ポート(自転車の貸出及び返却の場所)をループ沿いに設けることで、TB利用者がペデではなく**ループ道路を走るような環境を整える**
- ⇒ペデにおける自転車交通量を削減する



キャンパスリニューアル計画で整備されたループ道路(歩行者、自転車の分離)

Tsuku-Bikeポート配置案

②廃棄自転車の活用と削減

- ・筑波大学で廃棄されている自転車をTsuku-Bikeとして有効活用
- ・TBの普及によって自転車所有者数が減少すれば、廃棄自転車数の削減にも寄与できる

③自転車の運転、駐輪マナーの改善

- ・会員に自転車運転マナー講習を義務付ける
- ・電球切れなどの整備不良車を無くす事により、無灯火運転を低減させる
- ・ポートが決まっているため、否応なしに会員は駐輪マナー厳守となる

④モビリティの向上

- ・車や公共交通で通勤通学する、教職員、学生に、快適な学内移動手段を提供できる
- ・大学の来訪者のための移動手段としても活用できる

★Tsuku-Bike実証実験★

①実証実験の計画の概要

- ・大学の協力で駐輪場を提供していただき実証実験を行う予定だったが、東日本大震災の影響で大学に入構禁止となったため**中止**

表: 実施計画概要

実施エリア	筑波大学中央図書館～体育芸術専門学群棟
ポート数	2
貸出自転車台数	14台 (1ポートあたり7台)
自転車の種類	リサイクル自転車(卒業生から譲渡)、個人所有の自転車
実施予定期間	2011/3/14～3/18(5日間)
利用時間	9時～18時
1回の貸出時間	30分まで
利用証の仕様	紙
貸出・返却方式	有人貸出
登録料	無料
利用料	無料

②本実証実験での検証予定項目

- ・利用者数がどのくらいあるか
- ・サイクルシェアリングのシステムを利用者に短時間で理解してもらえるか
- ・実証実験用自転車の盗難が発生するか (CCS失敗の一番の要因は自転車の盗難問題)
- ・ポート間での自転車の偏りはどの程度発生するか
- ・利用者は、どのような目的でTsuku-Bikeを使用したか
- ・利用者の属性
- ・運営面で支障を来たす事象



実証実験を告知するポスターの掲示

★今後の課題★

①貸出・返却システムの構築;

ポート間の自転車の偏りの是正、受付業務などをどのようなシステムにするか

②費用の工面;

本格導入や実験期間における費用の工面が立っていない 学生有志活動としての限界が来た場合の運営主体

③法的問題の解決;廃棄自転車における所有権の問題の解決など